

# 遠賀

No.140 2016. 2.10

おんがちょう  
発行 / 福岡県遠賀町議会

## 議会だより



**特集**

**新春対談**

。。。 2

**12月定例会**

**国民健康保険税値上げ**

。。。 4

**10月臨時会**

。。。 6

**一般質問**

。。。 7

**意見交換会の開催**

。。。 14

松の本区餅つき

平成27年12月20日

松の本公民館にて毎年恒例の餅つきが行われ、今回は初めて折尾愛真高校の皆さんと一緒に餅をつきました。冬の寒さを吹き飛ばすほど元気いっぱい、笑顔が絶えない楽しい一日となりました。



遠賀町に戻って、町民レガッタに参加したい

# 新春対談



**議長** 今日、ボートや受験勉強で忙しいところ、来ていただいて、ありがとうございます。

**中川さん** 今はボートを引退して、大学に入ったら、またボートをやりたいと思っていますので、ボートの強い大学を目指して受験勉強に専念しています。

## ボート競技の魅力

**議長** 私たち議員も毎年、町民レガッタや全国交流レガッタに参加しているのですが、ボートは体力を使うし、難しい競技ですよ。

**中川さん** 見ている分には簡単そうに見えるのですが、



レースで疾走中の中川さん

オールをきちんと水の中に入れることさえも難しいですね。

**議長** ボートの魅力は、どんなところですか。

**中川さん** 漕ぎ手4人の息がぴったり合って、スピードに乗ってスイスイ漕げるときは、感動します。あの疾走感は、言葉で

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回、東筑高校ボート部でインターハイや国民体育大会に出場し、輝かしい成績を残された中川文馨さんと対談の機会をいただきましたので、その対談の様子を一部ご紹介します。 遠賀町議会 議長 古野 修

は言い表せません。この感動があるので、これからもボートを続けたいと思っています。

## ボート競技の普及

**中川さん** 私が中学生のころは、レガッタの存在すら知りませんでした。ボートの魅力を知ってもらえるよう、レガッタを広めていきたいですね。

**議長** 町では、レガッタ教室を開催したり、こどもまつりでは、東筑高校ボート部の協力でマシニング体験コーナーを設けたりと、レガッタに触れ合う「きっかけづくり」に努めています。

**中川さん** ボート競技が盛ん



ボートの魅力を熱く語ってくれました

に行われていることを知ったら、もっと多くの中学生が、高校でボートを漕いでくれると思います。

**議長** 中川さんも、高校

に入ってボートを始めたというのですが、中川さんのように活躍してくれる人がいると後輩たち

の起爆材になります。これからも頑張ってくださいね。

## 会心のレース

**議長** 今までの競技の中で、会心のレースはどのレースですか。

**中川さん** 高校2年生の時に

出場した長崎県での大会の準決勝です。

日頃の練習と基本をしつかり最後まで貫き通した結果、4人の息がピッタリ合ったレースでした。観客からの拍手がゴールまで鳴り止まず、それまで一度も勝つことができなかったチームに勝つことができました。

**議長** 目標は、4年後の東京オリンピック出場です。

**中川さん** 出場したいと思っています。

### 遠賀町のイメージ

**議長** 中川さんにとって

遠賀町のいいところは、どんなところでしょうか。

**中川さん** 交通の便もいいし、買い物も近くでできます。それに、自然もたくさんあって、住みやすい町だと思います。

**議長** では、悪いと思うところはどこですか。

**中川さん** 大学を卒業したら、ぜひ遠賀町に戻って、町

民レガッタに参加したいと思ってるのですが、働き口というか就職のことを考えると、難しいのかなと思っています。

**議長** 確かに事業所も少ないし、就職しにくい状況ではありますね。

少子高齢化の流れの中で、遠賀町もどうすれば人口を増やしていけるかが、大きな課題になっています。今、議会と執行部が知恵を出し合い、協議しているところです。

### これからのまちづくり

**議長** 中川さんが、議員や町長になったら、どんなまちづくりをしたいと考えていますか。

**中川さん** 今の自然をそのまま残して、にぎわいがほしいと考えています。

夏まつりやこどもまつり、スポレクなど、近隣の人がもつと遠賀町に来てくれれば活性化になるのではないのでしょうか。

**議長** そうですね。人が集まる所には、にぎわいがあるわけだから、もつともつと人の集まるイベントを考える必要があります。

その中で、遠賀町の魅力を感じてもらい、「この町に住みたい」「この町で子育てがしたい」と思ってもらえたら、これが一



駅南開発には興味津々でした

番いいと考えています。

**中川さん** 駅南開発は、どうなるのでしょうか。

**議長** 今はまだ、動き始めたばかりの段階で、まずは土地区画整理組合をつくって、協議しながらやっていくことになるでしょうね。

### 18歳選挙権

**議長** 今年の参議院議員選挙から18歳の皆さんが選挙権を持つことができます。どんな感じですか。

**中川さん** 今、いろいろな選挙に興味を持っています。自分が投票するとしたら、どんな人に投票するのか、友だちと話し合うこともあります。

んと意思表示することが大事ですね。

**中川さん** 初めての経験なので、不安もあります。期待もしています。

**議長** 議会としても、町民の皆さんが遠賀町の未来に希望が持てるように頑張っています。

今日は、どうもありがとうございます。ありがとうございました。



なかがわ ふみか  
中川 文馨 さん

(虫生津、東筑高校3年生)

小学6年生のころから「<sup>(注)</sup>福岡県タレント発掘プロジェクト」に参加する。世界を目指す種目として「ボート」を選択し、東筑高校ボート部に入部。

現在は、ボートでインターカレッジ優勝を目指すために、ボート競技の強豪大学を第一希望に受験勉強中。

#### 【ボート競技での成績】

平成27年度

- ・インターハイ  
シングルスカル 7位
- ・第70回国民体育大会  
シングルスカル 8位

※福岡県代表として、16年ぶりにボート競技入賞。

(注) 福岡県タレント発掘プロジェクト

子どもたちの能力を「見つけ」「育て」「生かす」ための事業。子どもたちに、能力の開発・育成を目的としたプログラムを実施する。



大学受験、頑張ってください



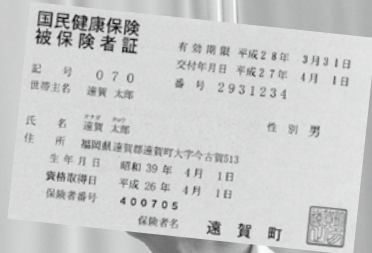
# 12月 定例会

12月定例会は、平成27年12月3

日から15日までの13日間開催されました。

議案は、条例制定・改正や平成27年度補正予算、請願、陳情など14件が上程され、慎重審議を行いました。

# 国民健康保険税 8年ぶりに値上げ



## 遠賀町国民健康保険税率

賦課形態		現行	改正後
医療分	所得割	6.80%	<b>7.30%</b>
	均等割	2万1000円	2万1000円
	平等割	2万2000円	2万2000円
支援金分	所得割	1.70%	<b>2.00%</b>
	均等割	4000円	<b>6000円</b>
	平等割	5000円	<b>6500円</b>
介護分	所得割	1.05%	<b>1.60%</b>
	均等割	5500円	5500円
	平等割	3300円	3300円

## 条例改正

国民健康保険税条例の一部改正  
(賛成多数可決)

国民健康保険特別会計は、高齢化や医療技術の高度化により赤字状態が続き、一般会計からの繰り入れで収支のバランスをとっている状態である。今後も医療費の増大が見込まれることから、国

民健康保険税を値上げするもの。

※国民健康保険税条例の一部改正は、町民の皆さんの生活に大きな影響があるため、議員全員による連合審査会を開催し、慎重に審査しました。

### 討論(主な内容)

#### 【反対】

町が、一般会計からの繰り入れで、国民健康保険税を県内でも低く抑えてきたことは、承知している。

その一方で、財政調整基金を積み増しているのならば、これを使ってでも国保税の値上げは行わず、町民の生活を守ることに町の役割と考える。

#### 【賛成】

本町の国保税の改正は、平成21年から行われておらず、現在の保険料は、県下でも低い水準になっている。

### 一般会計からの繰入金

年度	繰入金
平成22年度	5500万円
平成23年度	1億4200万円
平成24年度	1億円
平成25年度	8500万円
平成26年度	5500万円

今回の改正は、国民健康保険運営協議会でしっかりと議論された内容に沿ったものである。

その間も医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の普及促進や特定健診の受診率向上の取り組み、保険料収納率向上にも力をいれ、事業の健全化に努めている。

しかし、それでも進行する高齢化や医療の高度化などで、医療費は増大し、一般会計からの繰り入れを行っている状況だ。今回の改正で、税収は約3300万円の増になるが、一般会計からの繰り入れは引き続き必要になる。

## 条例制定

個人番号の利用及び特定個人情報に関する条例

(賛成多数可決)

『乳幼児・子ども医療費』『ひとり親家庭等医療費』『重度障害者医療費』の支給および『就学困難と認められる児童生徒』『特別支援学級に就学する児童生徒』の保護者に対する援助に関する行政事務について、特定個人情報の提供を定めるもの。

出産育児支援基金の設置、管理及び処分に関する条例

(全員一致可決)

本町の出産や育児についての施策を推進し、子育て環境の向上を図るため、新たに「出産育児支援基金」の設置を定めるもの。



すくすく育て、遠賀の宝

システム改修委託料  
220万円  
公職選挙法の改正により、選挙年齢が18歳に引き下げられるため、選挙人名簿のシステムを改修するもの。

### ●任期

平成28年1月1日～  
平成30年12月31日

(八幡西区)



さまざまな器具があるトレーニング室

青年就農給付金  
100万円  
平成28年度から新たに1夫婦と1人が事業認定を受けるもの。

営農支援対策事業補助金  
210万円  
中規模農家の営農支援を目的に、農業機械器具

農業者の営農支援を目的に、農業機械器具  
700万円  
虫生津・尾倉地区の暗渠排水管設置工事に対し、暗渠排水管の延長などの

施設型給付費  
1770万円  
当初見込みに比べて、

### 教育長

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度  
選任するもの。

中尾 治実さん

### ●任期

平成28年1月1日～  
平成30年12月31日

(八幡西区)

## 人事案件

後期高齢者医療特別会計  
(全員一致可決)  
106万円  
広域連合への保険基盤安定繰入金の増額によるもの。

遠賀総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正  
(賛成多数可決)  
主な改正として、トレーニング室の町外者使用料を150円から200円に変更するもの。

### 【主なもの】

第5回目の補正予算は、8838万円を増額し、予算規模は74億7581万円になりました。

と施設整備の補助を行う。農業機械への排気ガス規制強化によりコンバイン3台、トラクター1台分を補助するもの。

### 障害児通所給付費

1200万円



わあーい、給食の時間だ

放課後等デイサービス事業を開始した岡垣町の民間事業所に対し、本町の利用者11人分の通所給付費を増加するもの。

平成27年度

## 一般会計補正予算

8838万円増額  
(万円未満四捨五入)

工事の増工等のため、補助金を増加するもの。  
ひとり親家庭等医療費  
61万円  
1人当たりの療養費増加と被保険者の増加によるもの。

## 特別会計補正予算

(万円未満四捨五入)

国民健康保険事業特別会計  
(全員一致可決)  
2854万円

保険給付金の増額や療養給付費等負担金の精算に伴う返還金の増額によるもの。



# 陳情

TPP（環太平洋連携協定）に関する意見書の提出  
（全員一致可決）

（関係機関に送付）

## 【意見書の主な内容】

重要5品目（米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源）の3割に關稅撤廃や關稅率の引き下げなど、大幅な讓歩を受け入れられることとなった。国民生活の重要問題であることを踏まえ、次の事項を強く求める。

①「大筋合意」の公表を行い、地方經濟や地域農業に与える影響試算など

②重要5品目の確保を最優先した国会決議が順守されたものか、国会で十分な審議を行うこと。

③生産者が農業經營を継続できるよう、必要な対策と予算の確保を行い農業政策の確立を行うこと。

情報提供を行うこと。

73億8743万円となりました。

ふれあいの里改修工事費 1654万円

ふれあいの里浴場の天井板の一部が破損したため、改修工事を行うもの。

マイクロバス購入費 750万円

マイクロバスの老朽化に伴い、購入するもの。

一般備品購入費 300万円

地区公民館から要望があった備品（テント・机・椅子）を購入するもの。

平成27年度  
10月臨時会  
平成27年10月30日開催  
一般会計補正予算  
2704万円増額  
(万円未満四捨五入)

（全員一致可決）

第4回目の補正予算は、

2704万円を増額し、

# 請願

よりよい保育の環境づくりについての意見書提出（賛成少数不採択）  
2015年4月、「子ども・子育て支援新制度」が施行されたが、いまだ十分とはいえない現状である。

「すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を図る」とする趣旨を踏まえ、取り組みの一層の推進を図られるように要望する。

## 【委員長報告（第二常任委員会）】

「本請願は保育園、幼稚園、認定こども園に偏っており、学童保育などに触れていない」「町内の3保育園と幼稚園の意見の聴取もなく、意見書の内容も抽象的である」「施行されてまだ1年もたっておらず、客観的な判断ができない」などの意見が出た。

以上の審査内容を踏まえ、全員一致で不採択となった。

## 賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	議員名												
		浜岡	仲摩	尾下	二村	萩尾	田代	瀧田	中野	加藤	仲野	織田	萩本	古野
12月定例会	遠賀町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	遠賀町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	遠賀総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	よりよい保育の環境づくりについての意見書提出に関する請願書	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※ 全員一致の議案は除いています。



## 遠賀郡議長会議員 研修会

平成27年10月28日、芦屋町民会館で、九州大学主幹教授である佐々木一成さんの「水素エネルギーの現状と将来展望について」という講演会が開催されました。

東日本大震災以降、日本は、3E+S（安全性、安定供給、経済効率性、環境適合）を同時達成しつつ、バランスの取れた電力構成を目指しています。

石油、石炭、天然ガス等の枯渇性資源や原子力の補充エネルギーとしての注目されているのが再生エネルギーであり、中でも現在、力を入れて取り

組んでいるのが、水素で電気を蓄電する燃料電池の開発です。

今後、燃料電池は小型化と低予算化、インフラ整備により、一般家庭に普及させていく方針とのこと。また、原子力発電の代替として増加した枯渇性資源エネルギーの輸入額は27兆円になり、自給可能なエネルギーの開発は、将来の日本の発展に大きく寄与すると考えられます。



佐々木教授による分かりやすい講演

研修後は、燃料電池自動車『MIRAI』を見学しました。

一般質問とは… 年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はぎもと えつこ  
萩本 悦子



## 障害児放課後等事業の今後についてどう考えるか



### 障害児放課後等デイサービス事業への移行を計画している



利用者が減少し、閉鎖状況が続く  
島門小学校「にこにこクラブ」

#### 「にこにこクラブ」利用者減の原因

**議員** 島門小学校の「にこにこクラブ」は、利用者減が続いているが、この原因をどのように考えるか。

**町長** 3月からの土曜日開設により、利用者増を見込んでいたが、現実としては減少となっている。また、岡垣町に放課後等デイサービス事業を行う民間の事業所ができたこと、進学等による利用状況の変化が挙げられる。やはり、本町の障害児放課後等事業は、利用しづらい面があると捉えている。

#### 「にこにこクラブ」の充実

**議員** 岡垣町の民間の事業所には、本町からも多くの方が利用されている。反面、本町の「にこにこクラブ」の利用者は減少しているという状況がある。

る。利用者を増やすためには、事業の充実が必要だ。どのように考えるか。

**町長** 送迎、負担金、延長保育、食事やおやつ、要望等の問題があるが、現在の町単費による運営状況では、限度がある。そこで、国の補助が受けられる障害児放課後等デイサービス事業に移行することによって、事業の充実が図られるという結論に達した。

#### 放課後等デイサービスへの移行

**議員** 前回の質問で障害児デイサービス事業への移行など、いくつかの提案を行ったが、町長の答弁は、「まずは、やれるところからやっていく」というものであった。利用者や保護者の方は、町の方針に大きな不安を抱いている。迅速な対応が必要ではないか。

**町長** 国の制度に乗った本格的な事業である障害

児放課後等デイサービス事業へ移行するには、申請後、半年程度の期間が必要となる。

**議員** 具体的な目標年度を尋ねる。  
**町長** 今回、事務事業評価の中で指示を出している。目標年度というよりも、まずは早急に計画を立てたい。

#### 障害者学童保育事業の民間委託

**議員** 事業の民間委託への考えはあるか。  
**町長** 民間の事業者が施設を作り、本町で開設する方法と町が積極的に施設を提供し、運営を民間事業者にお願いといる。2通りの方法を考えている。

※この他にも、「人材ボランティアバンク」について質問しました。



## 西川沿い道路の国道下を拡 幅すべきだ



### 今古賀交差点工事に伴い、国に要 望する



おだ たかのり  
織田 隆徳



危険な国道3号線下道路、  
拡幅が望まれる

### 西川沿い道路の国 道下の拡幅を

**議員** 西川沿い道路の国道3号線下部分が狭く、車の離合と見通しが悪い。今古賀交差点の立体交差工事に合わせて拡幅すべきだ。

**町長** 構造上の問題もあるが、今古賀交差点工事に伴い、国に要望する。

### 旧停内の歩道橋の 安全性と必要性は

**議員** 県道岡垣・遠賀線の旧停内の歩道橋は、腐食箇所があり危険ではないか。また、利用者がほとんどいない。撤去して歩道を設置したらどうか。

**町長** 福岡県の管理であり、今年、県が検査を行った。構造上の危険性はないが、腐食しており補修を行う。朝と夕方それぞれ2時間、調査を行ったが利用者は4人だった。国道3号線今古賀交差点の立体交差工事により通

行量が増加するので、現状では必要である。工事完了後、県と協議したい。

### 胃がん検診は年1 回実施の継続を

**議員** 厚生労働省が平成28年にも導入予定の新がん検診は、50歳以上を対象に2年に1回、エックス線検査か内視鏡検査を選択できるものだ。がんの見逃しや病状が進行するため、早期発見・早期治療の目的からも、年1回の実施を継続すべきだ。

**町長** 現行の1年ごとの検診が良いと思う。当分の間、体制が整うまで現行の方法で行うこととなるが、遠賀・中間地域健康対策協議会で協議する。

### 医療機関でがん検 診の受診を可能に

**議員** 指定病院での特定健診は、がん検診が受診できない。岡垣町は、医師会病院と契約して受診できる。受診できるよう

にすべきだ。

**町長** 医療機関での受診は、経費が多く掛かる。今後の検討課題とする。

### 高校生・中学生議 会を開催すべきだ

**議員** 前回の衆議院選挙の投票率52・66%のうち、20歳代はわずか32・58%、実に3人に2人以上が棄権している。次回の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる。若者の投票につなげるため、高校生・中学生議会を開催すべきだ。

**町長** 高校は、学校から要請があれば積極的に協力したい。

**教育長** 中学生議会は、授業時間が取れるか、質問事項の決定や参加者の選考、教師の負担が増すなど、協議が必要であり、慎重に検討したい。

※この他にも、

「模擬投票の実施」

「部活動指導員の民間委託」  
について質問しました。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ  
(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。





はま おか みね ざと  
浜岡 峯 達



## 職員の窓口業務の教育指導をどのように行っているか



市町村職員研修所の研修等で接遇の教育指導を行っている



接客（接遇）は明るく親切に

コミュニケーション能力の指導は

**議員** コミュニケーション能力研修受講後の職員が経験の浅い職員にどのような指導を行っているか。

**総務課長** コミュニケーション能力研修には行っていないが、クレーム対応研修には、これまで約3割の職員を派遣しており窓口で問題点を発見したときには、研修で学んできたことを生かして、後輩の指導に努めさせている。

接遇のマニュアルはできているか

**議員** 来客者に対し対応接遇のマニュアルはできているか。

**町長** 町としてマニュアルは作成していない。自己啓発に委ねるつもりもないが、接遇を含め、ビジネススマナーに関する書籍もあり、市町村職員研

修所で研修を受けたときのテキストがマニュアルとなっている。

本町では指導要綱もあるので改めてマニュアルを作成するという考えはない。

**議員** マニュアルを作成する必要はないという回答だがどういう理由からか。

**町長** 接遇というのは、自分で決めることではないと理解している。自分がマニュアル通りやったとしても来客者がどのように受け止めたか、お一人お一人の考えで違ってくる。来客者に不快感を与えないのが接遇ではないかと考えている。

**議員** 接遇というのは一対一の関係になるわけである程度の約束事に従ってやっていけると思う。マニュアルを作成する必要があるということならば、若手の職員は自分で全てを判断しなければならない。そこで判断を誤

らないためにはマニュアルが必要ではないか。再度、町長の考えを聞きたい。

**町長** 問題が生じた場合は、その都度対応・指導している。

また、窓口対応でのマニュアルは大事なことを考えている。しかし、マニュアルに代わるものがある。

窓口対応をどう認識しているか

**議員** 住民からの苦情あるいは批判を払拭するにはどのように対応していけば良いか考えを聞きたい。

**町長** 窓口対応は、しっかりとした対応をとっていくよう、職員研修等も含めてやっていきたいと思う。



## 遠賀町安心安全なまちづくりの今後の防犯対策は



見守りの広がり、青パトの増大や防犯灯などの整備事業拡大を行う



はま だ りゅう いち  
**濱田 竜一**



児童生徒の安全を地域で見守る

### 安心安全なまちづくりの防犯対策は

**議員** 現在の防犯に対する取り組みを尋ねる。

**町長** 折尾警察署管内の関係機関で構成される折尾防犯協会の連合会に属し、町内23区で成り立つ遠賀町自主防犯組合を中心にさまざまな取り組みを行っている。

具体的には、チラシや回覧等での住民周知啓発、夏季防犯活動として全区で防犯補導パトロール、地区要望に基づく防犯灯の設置、青色回転灯装備車4台の整備、また、子ども110番の家の登録、ボランティアの皆さんの協力による地域安全パトロール、偽電話詐欺対策などに取り組んでいる。

**議員** 本町における防犯認知件数、発生件数の現状についてどのように捉えているか。

**町長** 防犯に対する取り組みが抑止力となり、件

数自体は減っている。

ただ、窃盗犯と空き巣が多い傾向にあり、特に忍び込みや自販機狙いが急増している。

引き続き、関係機関や協力団体と連携し、防犯対策の強化を行っていきたい。

また、町民への情報提供と自己防衛対策などには、力を入れて行くべきだと考えている。

**議員** 防犯対策に対して、新たな手法を取り入れる検討はあるのか。

**町長** それぞれの地域やボランティアの皆さんによる見守りの広がりを検討する必要がある。同時に補助金等を活用しての青パトの計画的な増大、防犯灯の整備事業の予算拡大、そして、「見守りネットふくおか」に基づく協定連携事業所との連携も含め地域全体の目で防犯の取り組みを進めていきたい。

### 児童生徒の登下校の安全確保は

**議員** 児童生徒に対する安全確保、危機回避能力の育成教育はどのような対策を行っているか。

**教員長** 元気に登校した子どもたちを全員元気な姿で帰宅させることが学校の最大の責任とし、ボランティアの方たちの協力で登下校中の見守りや、危険箇所マップを作成し危険箇所付近に近寄らない、逃げる、知らせるなどの指導を徹底している。

**議員** 危険箇所、公共の場、通学路などに対して防犯カメラの設置予定はあるのか。

**町長** 人の集まる場所の設置ではなく、施設利用者の安全確保の観点から未設置の公共施設への設置をまず検討していきたい。





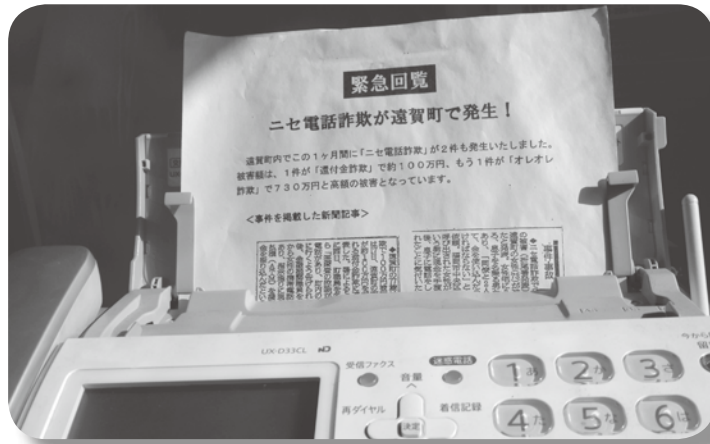
はぎ お おさ み  
萩尾 修身



## 町内で犯罪が起きたら、素早く住民に知らせるべきだ



町に情報が入ったら、すぐに対処している



緊急回覧は  
ファクスを活用すべきだ

安心・安全なまち  
づくりの施策は

**議員** 町内で犯罪が起きたとき、素早く住民に知らせるシステムをつくるべきではないか。

**町長** 犯罪発生情報は、福岡県警が管轄し、県下で起こった軽犯罪の情報をインターネット上で、リアルタイムに福警安心メールで公開している。

本町では、子どもを守る視点から、不審者情報を教育関係機関より入手し、町内で発生した事案については速やかに各学校関係者へ連絡するとともに、本町ホームページに情報をアップし、職員による周辺パトロールを実施している。

また、オレオレ詐欺発生時においては、全区に緊急回覧をお願いした。

**議員** 素早く町民に知らせるシステムが本町にはない。犯罪等が起きた場合、区長さんにファクス

を送って、回覧板を回してもらえれば、同じ被害を抑止できると考えるが、町の考えは。

**町長** 区長さんへの不審者情報等は、今はファクスよりも早いメールを送らせていただいている。

本町に犯罪情報が入った場合、すぐに対処しているが、他にどのようなシステムがあるのか、逆にお尋ねする。

**議員** メールではなくて、ファクスを利用すべきと考えている。ファクスはそのままコピーすれば、すぐ回覧板で回すことができる。メールでは、なかなか他に広げるのに難しい面があるので、町からファクスを送っていたら、そのままコピーして回覧板にするというシステムができないかと考えている。

**町長** 不審者などの情報は、入り次第、瞬時に伝えていくつもりで、また伝えなければならぬと

思っている。ファクスを送る体制は既にできているので、メールで区長さんに連絡している。

増田ビジョンに対する考えは

**議員** 地方消滅という増田ビジョンについてどういう捉え方をしているか。

**町長** 増田寛也氏を座長とする日本創成会議が出した報告書が、増田ビジョンといわれている。捉え方としては、数字的に人口が減少するのであって、自治体が消滅するものではないと認識している。



## 駅前に安価な駐車場を整備すべきだ



駅南に駐車場を整備し、交通結節点機能の向上を図っている



なか ま やす ひろ  
仲摩 靖浩



利用が少ない  
駅南コインパーキング

駅前に安価な駐車場を整備すべきだ

**議員** 遠賀川駅の利用者数の減少は、駅周辺の駐車場の利用料金が高いのも一因であると考えます。駅周辺の活性化のために安価な駐車場を整備するべきではないか。

**町長** 町営駐車場は新町駐車場と駅東駐車場を用意し、駅北広場にはJR管理のコインパーキングがある。

昨年度末には、さらに駅南にコインパーキングを整備し、交通結節点機能の向上を図っている。  
**議員** 駅南駐車場は一日に1〜2人程しか利用されていない。

周辺が発展するまで、時限的に安価な駐車場を提供し、どれくらい必要があるか確認してみたいか。

**町長** 指摘の内容は十分承知しているが、駅南駐車場は11台しかないの

現行の運営方法で管理したい。

駅前にコンビニなどを招致すべきだ

**議員** 鹿児島本線の小倉博多間で、500m以内にコンビニがないのは本町のみである。駅の利便性を向上させるためには、駅周辺にコンビニなどを招致するべきではないか。  
**町長** 駅周辺に買い物をする店がないことは認識している。

町としてもJA北九州跡地の活用を含め、民間主導型での店舗出店を関係者と協議をしていく。

**議員** 駅前の役場出張所の一角に売店を建て、商品を取扱するなど、予算を掛けずにやれることはないか。

**町長** 一理あるが、駅前の既存店や商工会、商店街の理解が必要になる。

また、JA跡地の開発の話も進めており、競合する動きは避けたい。

長期優良住宅を促進するべきだ

**議員** 全国的に空き家対策が問題になっている。空き家の解体補助金等、短期の解決策とは別に、中長期的に長く住める優良住宅を促進し、空き家を減らすべきではないか。  
**町長** 福岡県が長期優良住宅の認定事務を行っており、町では固定資産税の軽減措置を行っている。今後もホームページ等で紹介し、長期優良住宅制度の普及促進に努める。

**議員** 子どもに財産を残せる長期優良住宅の促進は、町の人口減少を止める手段にもなる。さらに広く知らせるべきだ。

**町長** 現在町内の新築住宅の30%程が長期優良住宅の認定を受けている。残り70%についてもさらに促進していく。

ただ、定住政策としては、既存の政策に力を入れたい。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。





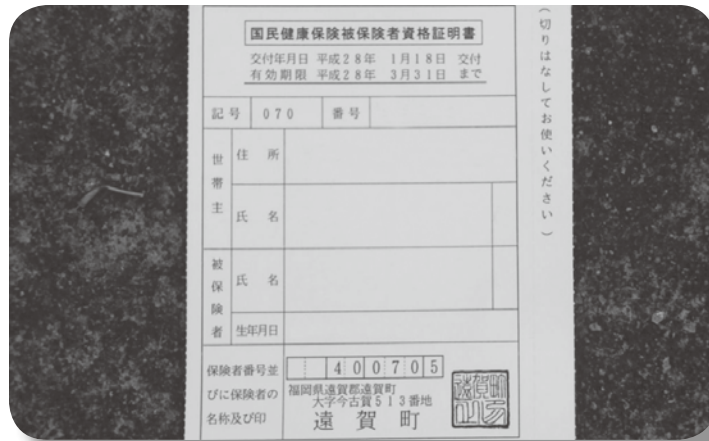
たしろ じゅんじ  
田代 順二



## 国保資格証明書交付が平成27年6月時13世帯あるが



### 生活状況等の実態把握や納付相談を行い現在5世帯になっている



国民健康保険資格証明書

資格証明書はいったん全額自己負担

**議員** 国民健康保険は、支払い能力を超える国保

税が全国で大問題だ。原因は国の国保法改悪、予算削減にあると考える。

町内では資格証明書交付が平成27年6月1日時点で13世帯ある。資格証明書は保険証がなく、いったん全額自己負担だ。13世帯の経過、状況を探ねる。

**町長** 13世帯は、生活状況等の実態把握や納付相談を行い現在5世帯となった。

納付相談にいられた方には、早期完納に向けた計画等を作成して納付勧奨を行い、また生活改善が必要な方、生活状況が大変厳しいと思われる方には福岡県自立相談支援事務所を紹介している。

**議員** 5世帯は連絡しても来ないのか。

**税務課長** 電話連絡や訪問

を行い実態調査を実施しているが、まだ接触できていない。

**緊急時は短期被保険証交付**

**議員** 国は病気等がある場合、速やかに短期被保険者証を交付するよう通知文を出しているようだが本町にも来ているのか。

**健康こども課長** 通知文は確認していないが、短期被保険者証はその都度、状況に応じて交付している。

**議員** 5世帯の方にも緊急時は短期被保険者証を発行する認識でよいか。

**健康こども課長** お話を聞いた上で発行する。

**議員** 5世帯に知らせてはどうか。

**町長** 接触を試みていることはご理解いただいた。

**マイナンバー発送の問い合わせは**

**議員** 現在まで町民からのトラブル、問い合わせ

はあるか。

**町長** トラブルはない。「番号通知カードはいつ届くのか」、配達後「番号通知カードが届いたがどうすればいいのか」「個人番号カードは申請しなければならぬのか」といった問い合わせがある。

**議員** 不在、転居等の理由で返ってきたものはどのくらいあるか。

**町長** 平成27年12月1日現在、8022通発送し、不在、未配、受け取り拒否3通含めて返戻が567通、約93%7455通分が配達完了している。

**議員** 返ってきたカードは今後どうするのか。

**住民課長** 3カ月間保管し、受け取りにいられたら交付する事務を現在進めている。

※この他にも

「子どもの貧困対策」

「同和行政」

について質問しました。

# 意見交換会の開催

本町議会では、議会基本条例に基づいて、平成27年11月19日に、初めての意見交換会を区長会の皆さんと行いました。

自主防災組織とどのような関わっているかとの質問がありました。

質問に対して、議員は、防災訓練には自主的に参加しているが、災害発生時には、議会としても災害対策本部を設置するため、区内での活動という役割は持つていないと答弁を行いました。

また、地域コミュニティの課題では、自治区によつては、住民の高齢化等により自治会への加入率が減少している傾向があり、コミュニティづくりが難しいという問題提起がありました。

議会として初めての意見交換会でしたが、日々地域活動で苦勞されている区長さんの生の声を聞くことができ、今後の議会活動に大変参考になりました。

区長会と議会との意見交換会



## 皆さんの力で議会だよりをより良いものに 議会広報モニター募集

議会広報常任委員会では、「議会だより」に関して、町民の皆さんからの意見や感想、提言などを幅広くお聴きするため「議会広報モニター」を募集します。

### ● 仕事内容

▽「議会だより」に対するアンケートの記入

議会事務局（役場2階）に準備している専用の申込用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業と、応募の動機または議会だよりの感想を記入し、提出してください。

▽モニター会議への出席（年2回程度）

込用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業と、応募の動機または議会だよりの感想を記入し、提出してください。

### ● 対象

次の条件をすべて満たす人

職業と、応募の動機または議会だよりの感想を記入し、提出してください。

①本町に住んでいる20歳以上の人

● 締め切り  
2月29日（月）  
午後5時15分（必着）

②議会広報に深い関心があり、公正な社会的見識がある人

● その他  
▽モニターの選考は、年齢や性別、居住地域などを考慮し、厳正に行います。

③現在、常勤の公務員でない人

▽選考結果は通知しますが、選考内容の公表は行いません。

● 募集人数 5人以内

います。

● 任期  
平成28年4月1日～  
平成29年3月31日

▽選考結果は通知しますが、選考内容の公表は行いません。

● 申し込み・問い合わせ  
遠賀町議会事務局

〒811-4392

遠賀郡遠賀町大字今古賀513番地

☎093(293)1235

## あとかき

平成27年11月25日、福岡県自治会館にて、福岡県町村議会議長会主催で町村議会広報研修会が開催されました。

広報紙編集の際、各自治体から提出された広報紙の講評を聞き、レイアウトや写真の使い方など大変参考になりました。

編集にあたっては、地域の考え方を聞き、色々な局面で取材し特集を出してお知らせ方式から問題提起型にしていくことが大切だとの言葉がありました。

今後はこの研修で得た知識を編集活動に生かし、町民の皆さんに親しまれる広報紙作りに携わっていきたくと考えています。

浜岡 峯達

## 遠賀議会だより

発行責任者

議長 古野 修

議会広報 常任委員会

委員長 中野 嘉徳

副委員長 萩本 悦子

委員 浜岡 峯達

仲摩 靖浩

尾下 康文

濱田 竜一

開会時間が  
午前9時30分に  
変わります

今回の定例会は **3月です**  
詳しい日程は、2月下旬に  
遠賀町ホームページ  
(<http://www.town.onga.lg.jp/>)  
でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター  
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。